

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(中学校用)

都道府県名	東京都
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	国立市立国立第一中学校					
学年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	5	5	5	1	16	27
生徒数	195	172	194	1	562	

研究の概要

1. 研究主題

生徒の学ぶ意欲と関心を高め、より深くわかるうとする力を育てるための実践的研究
--

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

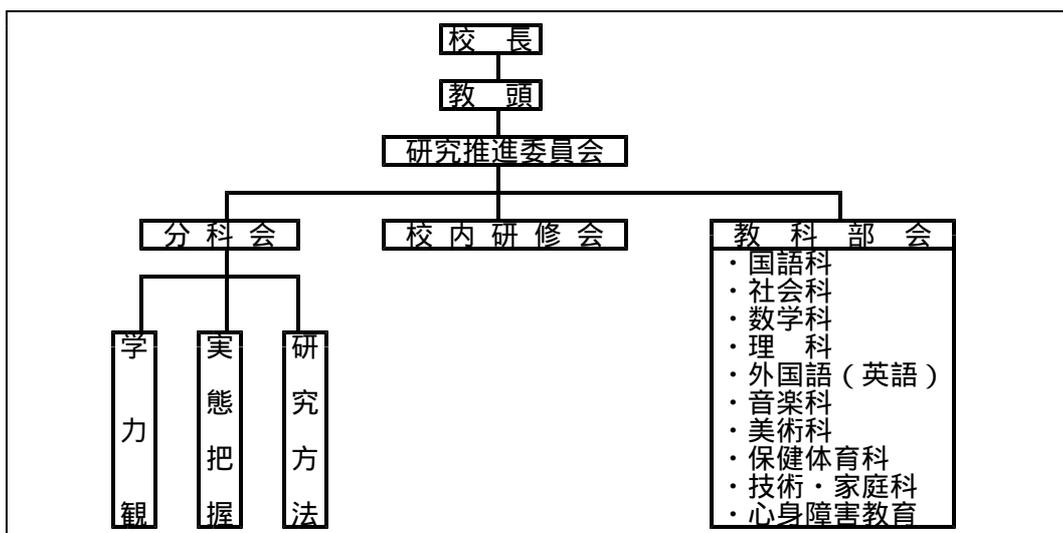
全学年・全教科(心身障害学級を含む) 確かな学力を育成するためには、学年、教科を限定せず全学年、全教科での指導法の改善が必要であろう、という観点で研究に取り組むため

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	テーマ 授業改善を図る 研究の見通し 教材、指導方法の開発 研究の内容・方法 全学年・全教科(心身障害学級を含む)が個に応じた指導のための教材開発や、指導方法・指導体制の工夫改善と生徒の学力の評価を生かした指導の改善を研究
--------	--

平成16年度	テーマ 授業改善の工夫と取り組み 研究の見通し 生徒の学力の評価を成果として見いだしたい 研究の内容・方法 全学年・全教科(心身障害学級を含む)が個に応じた指導のための教材開発や、指導方法・指導体制の工夫改善と生徒の学力の評価を生かした指導の改善を研究
--------	---

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

今年度の授業研究を三つのポイントについてまとめた。

教材について

- ・具体的で、身近で、わかりやすい教材を使う。

指導方法について

- ・個別学習や班学習、グループ学習を効果的に取り入れた指導をする。
- ・ワークシートなどを有効に活用することで、学習過程がわかる指導をする。
- ・活動する時間、考え、まとめる時間、発表をする時間を意図的、計画的に取り入れた指導をする。

学力向上を読み取る評価について

- ・自己評価
- ・相互評価
- ・教師による評価

2. 今後の課題

各教科共通で実践する方式を整える。
本校で設定した「3つの学力(考える力・判断する力・活用する力)」を読み取る評価方法について、具体的な実践を行うこと。

学力把握のための学校としての取組

- ・今年度の研究スタート時に、生徒の実態把握の為のアンケート調査(生徒の生活と学習の様子)実施
- ・学力を図るための章末テスト、単元テスト、自己・相互評価をそれぞれ単元ごと、教科ごとに実施

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・研究報告会(2/19)にて、研究成果の報告を通して普及
- ・市内学力向上フロンティア地区連絡協議会(6/20)にて、地区協議会委員(PTA会長、育成会、地域代表者等)を対象に、研究のねらい、内容、計画などを説明
- ・研究発表会の案内を区教育委員会及び多摩地区全小・中学校へ配布
- ・市内小・中学校の研修会時に研究の成果等を説明、地区教頭会等にて研究紀要を配布

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 3学級以下 4～6学級
 7～9学級 10～12学級
 13～15学級 16学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 その他
- 【研究教科】 国語 社会 数学 理科
 外国語 音楽 美術 技術・家庭
 保健体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無